

(別紙様式2)

平成28年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：佐賀県
農業委員会名：伊万里市農業委員会

I 農業委員会の状況(平成28年 4月 1日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,800	911				3,710
経営耕地面積	2,053	696	211	485	0.4	2,749
遊休農地面積	12	14	14			26
農地台帳面積	3,063	1,953				5,016

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	2,933
自給的農家数	632
販売農家数	2,301
主業農家数	492
準主業農家数	594
副業的農家数	1,215

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	3,751
女性	1,901
40代以下	460

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	249
基本構想水準到達者	137
認定新規就農者	6
農業参入法人	0
集落営農経営	7
特定農業団体	0
集落営農組織	7

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 2 9 年 7 月 1 9 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数	18	18	1	1	1	2	5	23
認定農業者	—	5	1	0	1	0	2	7
女性	—	0	0	0	0	2	2	2
40代以下	—	0	0	0	0	0	0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数					
認定農業者	—				
認定農業者に準ずる者	—				
女性	—				
40代以下	—				
中立委員	—				

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員			

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成28年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
		3,710ha	1,157ha
課 題	中山間地域においては、矮小で不整形等の条件不利地や分散錯綜した農地が多くあることから集積・集約化の阻害要因となっている。また、地域外からの担い手等に対する当該地域における農業者との協力体制(水路、農道等の共同利用施設の使用、鳥獣被害対策等)の確立が容易でないことも、集積・集約化の阻害要因の一つとなっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
1,164ha	1,083ha	15ha	93.00%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用権設定の期間満了を迎える全ての農業者に対して、毎月農業委員が戸別訪問し再設定の推進を行う。 ・担い手農家への農地集積は、農業委員会の通常活動や農地中間管理事業を活用して行う。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、利用権設定の期間満了を迎える全ての農業者に対して、農業委員が戸別訪問し、再設定の推進を行った。 ・担い手農家への農地集積は、農業委員活動や農地中間管理事業を活用し、掘り起こしを行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手(認定農業者)の減に伴い、集積面積も減となったため、集積目標には届かなかったが、新規実績については、目標を超える面積を集積できた。経営規模拡大に慎重な農家が多い中で妥当な目標であった。
活動に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用権設定の終期を迎える全ての農業者に対し、戸別訪問での再設定の推進や、農協等関係機関と協力して農地集積の推進を行う事が出来た。 ・また担い手も高齢化が進んでいるが、再設定を推進することができた。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	25年度新規参入者数	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数
	2経営体	6経営体	3経営体
	25年度新規参入者が取得した農地面積	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積
	1. 4ha	2. 3ha	0. 3ha
課題	・技術の取得、土地や資金の調達、消費者を確保するための販売ルートの開拓など課題が多い。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成28年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
3経営体	2経営体	66.66%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
1. 3ha	1. 1ha	84.61%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	・月1回の新規就農相談会等を活用し、他の関係機関と連携し、新規参入者の確保に努める。
活動実績	・月1回の新規就農相談会にて、新規参入者の要望を聞き、希望就農の視察を行うなど、知識・技能を学ぶための場の提供が出来た。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	・知識・技術取得、土地や資金の調達、販売ルートの開拓・確保など課題が多く、目標は達成できなかったが、対応を行うには妥当な目標であった。
活動に対する評価	・新規就農相談会等を活用し、新規就農希望者の発掘に努めたが、すべてが就農につながるまでの成果とはなっていないが、良い情報提供が出来た。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (平成28年4月現在)	管内の農地面積(A) 3,736ha	遊休農地面積(B) 26ha	割合(B/A×100) 0.7%
課 題	・高齢化による労働力不足、地域内担い手の減少等により、矮小で不整形等の条件不利地の耕作の放棄や農産物価格低迷や収益が上がる作物がないなど農業経営条件悪化も遊休農地の発生課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び実績

解消目標① 13ha	解消実績② 4.6ha	達成状況(②/①×100) 35.38%
---------------	----------------	-------------------------

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	調査方法	37人	4月～8月
農地の利用意向調査	調査実施時期:11月			
その他の活動				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		38人	6月～9月	10月～3月
	農地の利用意向調査	調査実施時期 11月	調査結果取りまとめ時期	12月～3月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
		調査数: 122筆	調査数: 0筆	調査数: 0筆
	調査面積: 12.5ha	調査面積: 0ha	調査面積: 0ha	
その他の活動				

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	・矮小で不整形等の条件不利地が多く、耕作継続が難しく、また、遊休農地が増加する中、目標達成することができなかった。
活動に対する評価	・計画的に活動を行う事が出来たが、耕作放棄地が山間部に位置し、狭隘で耕作条件が悪い農地が多く、担い手も高齢化等により不足しているため、遊休農地の目標解消までは至らなかった。今後も積極的な遊休農地解消を図りたい。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成28年4月現在)	管内の農地面積(A) 3,710ha	違反転用面積(B) 0ha
課 題	・農地が農地法の規制対象となることを知らないケースがあることから、農業委員会として今後より一層の周知徹底を行う必要があると思われる。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成28年度実績

実 績①	増減(B-①)
2.7ha	△2.7ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	・年1回行う利用状況調査や農業委員の通常業務等により違反転用を発見した場合は、速やかに是正のための適正な指導を行う。 ・農業委員会だよりやホームページで周知を図る。
活動実績	・8～9月に実施する利用状況調査の中で違反転用を発見し、速やかに是正のための適正な指導を行った結果、許可権者による追認許可を受け違反転用の解消を行った。 ・農業委員会だより等による、農地法第5条の周知を行った。
活動に対する評価	・活動自体は、十分出来たが、農地法の規制対象となることを知らない者が多く、今後も農業委員会だよりやホームページでの周知や農業委員の指導を図り、許可の必要性を周知、徹底を図る。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 79件、うち許可 79件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	・申請者に対して申請書の項目ごとに記載内容の確認を行う。また、地図情報システムと連動した農地台帳により、現地を把握したうえで現地調査を実施し、利用状況等を確認している。			
	是正措置	-			
総会等での審議	実施状況	・議案の番号ごとに農地法第3条第2項各号を満たしているかを説明し、申請内容について質問があれば事務局または地区担当農業委員が回答する形式で審議を実施している。			
	是正措置	-			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	79件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0件		
	是正措置	-			
審議結果等の公表	実施状況	・事務局、本庁市民サービス係及び図書館での閲覧			
	是正措置	-			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 28日	処理期間(平均)	24日
	是正措置	-			

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 67件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	・事務局で転用申請があった際に申請者に対して申請内容の確認を行う。また、地図情報システムと連動した農地台帳を使って現地を把握したうえで、現地調査を実施し、周辺状況等を確認している。			
	是正措置	-			
総会等での審議	実施状況	・議案の番号ごとに事務局より該当する農地区分及び許可基準の説明を行い、その後、地区担当農業委員から転用内容の詳細の説明を行い、それを基に委員会全体で審議を実施している。			
	是正措置	-			
審議結果等の公表	実施状況	・事務局、本庁市民サービス係及び図書館での閲覧			
	是正措置	-			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 21日	処理期間(平均)	21日
	是正措置	-			

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	5 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	5 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0 法人
	提出しなかった理由	—
	対応方針	—
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0 法人
	対応状況	—

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 303件 公表時期 平成29年 3月 情報の提供方法: 事務局および市のホームページにおいて公開している。
	是正措置	—
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 1, 373件 取りまとめ時期 平成29年 3月 情報の提供方法: 市のホームページで公表している。
	是正措置	—
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 4, 922ha データ更新: 住民基本データを年4回、固定資産データを年1回、定例農業委員会後のデータ入力年12回更新した。 公表: している(全国農地ナビ)
	是正措置	—

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 意見なし 〈対処内容〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 意見なし 〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

・事務局、本庁市民サービス係及び図書館での閲覧

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 0 件

提出先及び提出した意見の概要	意見なし
----------------	------

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している